



木村 久雄 議員
(公明党議員会)



※「プレコンセプションケアについて」

Q 様々な選択肢がある中で自分の人生として納得のいく選択ができるよう、早いうちから妊娠も含めた健康に関する正しい知識を持つことが必要だが、プレコンセプションケアの普及啓発について本市の見解を伺いたい。

A 健康医療部長

プレコンセプションケアは、若い世代のうちから妊娠・出産や、自らの心と体の健康に関して正しい知識を持ち、人生設計を意識し、より質の高い生活を将来実現するために大切だと考えます。市内各小中学校及び義務教育学校で実施している思春期保健事業や性教育講座等の事業に今後も引き続き取り組むほか、学校を卒業し、社会へ出た方への啓発も広報紙や市のホームページなどで実施していきたいと思っております。

その他の質問

- ☆鳥獣被害対策について
- ☆サニタリーボックスの設置について
- ☆インフルエンザ予防接種について
- ☆メタンガスについて

※「プレコンセプションケアとは・・・」

将来の妊娠を考えながら、女性やカップルが自分たちの生活や健康に向き合うこと



田所 良夫 議員
(新風)

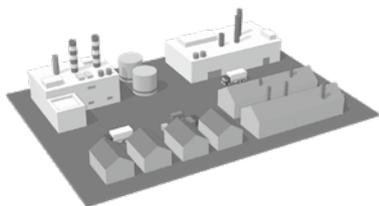


「進化する佐野市」「選ばれる佐野市」について

Q 佐野市産業振興基本計画において、新たな産業用地創出の候補地として検討するエリアに示された出流原P.A.スマートICから約500メートル南の地域を、土地利用調整エリアから土地利用転換エリアに変更する事業を推進してはいかがか、伺いたい。

A 産業文化スポーツ部長

今後の新たな産業用地候補地の創出にあたっては、社会情勢や企業の立地ニーズを踏まえ、ご指摘の箇所も含めて適切な箇所を研究、検討していきたいと考えています。また、民間開発を見据え、民間が参入しやすい仕組みづくりや地域未来投資促進法などに基づく優遇制度の活用提案により、企業の新規立地を促すなどの活動も進めていきたいと考えています。



横田 誠 議員
(新風)



子どもの権利を守る環境整備について

Q 改正児童福祉法の中に、子育て世帯に対する包括的な支援のための体制強化及び事業の拡充が示され、こども家庭センターの設置の努力義務が課せられているが、市としての対応について伺いたい。

A こども福祉部長

本市としては、令和6年4月の改正児童福祉法施行に併せ、現在、家庭児童相談課に設置している子ども家庭総合支援拠点と健康増進課に設置している子育て世代包括支援センター（母子保健型）の組織を見直し、全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへ一体的に相談支援を行う機能を有することも家庭センターの設置に向け、国や県、他自治体の動向を注視しながら準備を進めていきます。

その他の質問

- ☆さのまるのデザイン使用について
- ☆唐沢山城跡に関連した観光振興について



(令和4年12月31日をもって辞職)